

家屋立ち入りおよび鍵お預りについての協定書

第1条 家主およびご利用者は、_____（以下、甲とする）が鍵の開閉が困難なご利用者へのサービスを提供するために、以下のとおり家屋に立ち入ることを許可する。

ご利用者名	
家屋（住所）	
立ち入りの目的 おおよその頻度	

第2条 家主は、甲に、以下の鍵を預ける。

鍵識別番号	開閉するドア・部屋など詳細	個数
		個
		個

第3条 甲は、預かった鍵を会社事務所で当該サービス部門管理者の監督のもと保管し、第1条の目的の範囲内で使用する。

第4条 甲は、ご利用者不在時の出入りは行わないこととし、また退出の際の火元などの安全確認および家屋全体の施錠の確認を徹底するものとする。

第5条 甲は、いかなる理由でも預かった鍵を複製しない。また、預かった鍵を紛失した時は、直ちに家主またはご利用者に通知し、鍵の交換など必要な措置を甲の負担で実施する。

第6条 甲は、家主またはご利用者から求めがあった時およびサービスが終了した時は家主またはご利用者に預かった鍵を返却する。

第7条 甲は、ご利用者の安否確認など緊急対応の場合に第1条の範囲を越え預かった鍵を使用することがある。ただし、業務外の緊急対応の全責任を負うものではない。

第8条 本確認書の有効期間は契約の日より1年間とする。

年 月 日

【家主】（自署捺印）

印

【ご利用者】（自署捺印）

印

【事業所】

印

担当

印



equal Online
E-ケア書式

協定終了（鍵返却）証

本協定の終了と鍵の返却を確認しました。

年 月 日

【家主】（自署捺印）

印

【ご利用者】（自署捺印）

印

【事業所】

担当

印